



高速しが

平成26年
7月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

夏の交通安全県民運動が始まります!

期間：7月15日(火)から24日(木)までの10日間

☆運動の基本

子どもと高齢者の

交通事故防止

☆運動の重点

①全席シートベルト・チャイルド

シート着用の徹底

②飲酒運転・過労運転の根絶

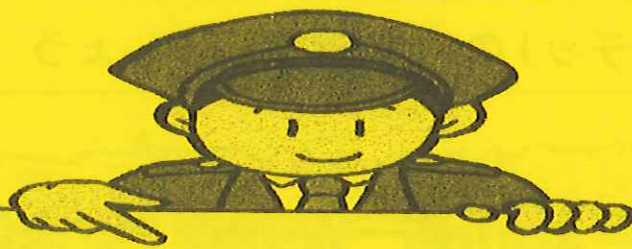
③高齢者に対する

交通事故防止対策の推進

④自転車の安全利用の推進

運動期間中、高速道路交通警察隊では、夏期における交通事故防止を図るため、名神や新名神、北陸自動車道及び京滋バイパスの全線において、24時間体制で交通取締りを強化します。

特に飲酒運転、過労運転、運転時における携帯電話やメールの使用など、交通事故に直結する違反のほか、交通事故の衝撃から身を守る、シートベルト・チャイルドシート非着用を重点に取り締まりを実施します。



レジャーや帰省などで、久しぶりのドライブではありませんか？

慣れない運転、慣れない道路での長距離・長時間運転は、想像以上に神経を使い疲れるものです。集中力が持続しない、少し眠気がある等を感じたときは無理をせず、早めにサービスエリアなどで休憩を取りながら、常に体調に余裕をもって、安全運転に心掛けて下さい。



平成26年度 滋賀県交通安全スローガン

近江路を笑顔でつなぐ 無事故の輪

忘れずに 全席シートベルトの着用を!!

車で走行中、乗車している人は車と同じ速度で進んでいるのです。人と車は一心同体、車が急に止まれないように、人の体も急には止まりません。

特に高速道路では時速100キロメートルという高速で走行するため、シートベルトをしないで衝突した場合、その衝撃を支えきれずハンドル、フロントガラス、左右のドア、等に打ち付けられてしまいます。後部座席では、前席、フロントガラス、後部ガラス等思わぬ方向へ飛ばされ車内に打ち付けられ、時には窓ガラスを打ち破ったり、開いたドアから車外に放出されることもあります。

後ろの席でも忘れずに
シートベルトを
締めましょう!



車外へ放出されると、路面へ打ち付けられる衝撃の大きさや、後続車に撥ねられるなどして、死亡に至るケースもあるのです。

後部席で怪我等した人のうち、約50%がシートベルト非着用で、その中で約7割以上の方が車外放出等によって亡くなっているのが現状です。

知っていますか? シートベルトの正しい使い方

- ※ 腰ベルトは腹部にではなく腰骨にかかるとようにしましょう
- ※ 肩ベルトは肩の中心位置になるようにしましょう
- ※ ベルトはねじれのないようにしましょう
- ※ バックルは「カチッ」の音を確認しましょう

きちんと締めよう



高速道路は一方通行です!

※ 行き先を間違えた! 行き過ぎてしまった!!

・次のインターチェンジで降りてください。

本線上や料金所付近では絶対にバック・Uターンはしないでください。

※ 逆走を発見したら!

- ・速度を落とし、十分な車間距離をとって、通行帯の最も左側を走行しましょう。前方に逆走車があれば、路肩等の安全な場所に停車して衝突を避け、110番又は道路緊急ダイヤル(#9910)で通報をお願いします。

